

## 質疑応答 あなたの 失業保険について 給付金公聴会

このパンフレットは、失業保険給付の公聴会に関する基本的な質問に回答するものです。これは、公聴会への準備の方法と公聴会であなたがどんな権利を有するかについて説明しています。

Si le gustaría obtener una copia de este folleto en el español, comuníquese con el Central Telefónico de Reclamos o a la Sección del Juez de Derecho Administrativo (Administrative Law Judge Section) donde ocurrirá su audiencia

私がALJの決定に同意できなければ、どうなりますか？

ALJの決定に不服があれば、あなたは上訴することができます。上訴とは、ALJの決定が正しいかどうかを審査するために、審判委員会と呼ばれる「より高い」レベルに正式に要求することです。あなたは、1) 必要事項を記入した用紙を審判委員会に提出するか、2) DOLに決定を訴えたいと始める旨の書状を送るか、いずれかの方法で上訴を要求することができます。あなたの要求は、ALJの決定に押された日付から20日以内の消印としなければなりません。

あなたの元の雇用主も、上訴することができます。あなたは、公聴会に出頭しなければ、ALJの決定に不服を申し立てることはできませんが、ALJにあなたの事件の再調査を要求することはできません。

決定が上訴された場合は、何が起こりますか？

不服申立書を提出した後に、あなたは、ALJの決定がなぜ間違っているのかを説明する書面を審判委員会に提出することができます。弁護士か他の誰かがあなたの陳述書の作成をお手伝いすることができます。あなたの元の雇用主も、陳述書を提出することができます。

陳述書を提出する前に、あなたは、公聴会のトランスクリプトを確認する必要があります。(トランスクリプトとは、公聴会で発言された全ての内容を記録した書面です)。あなたは、「不服申立書受領通知書」を受け取った後に、明細書の提出期限までに審判委員会に書面で提出することで、トランスクリプトを入手できます。あなたは、何日にトランスクリプトが準備できるのか、その日から20日後に陳述書を提出できるのか、審判委員会に問い合わせる必要があります。審判委員会は、あなたの公聴会に問題があったと判断すれば、あなたの事件をALJに送り返して再度公聴会を開くか、自ら公聴会を開きます。審判委員会は、ALJの決定が間違っていたと判断すれば、その決定を覆すこととなります。

私が勝訴しても、元の雇用主が控訴すれば、どうなりますか？

あなたの元の雇用主(またはDOL)は、あなたに有利な決定を不服とすることができます。あなたは、その上訴に反対する書面を提出することができます。このような陳述書を提出すれば、あなたは、公聴会に敗れ、自分で上訴を起こした場合と同じ権利を有します。例えば、あなたはトランスクリプトを確認したり、弁護士に相談したりすることができます。

審判委員会があなたに有利な決定を覆した場合、あなたは給付金を返済しなければならないかもしれません。

私は、公聴会を延期することができますか？

はい。正当な理由があれば、あなたは、公聴会を「休止」(延期)することができます。あなたは、ALJに理由を説明する必要があります。ALJはそれが適切か否かを判断します。正当な理由の例としては、以下のとおりです。

1. あなたに、緊急事態が発生している。
2. あなたは、弁護士を希望しており、弁護士に依頼できていない。
3. あなたは、弁護士に会うことができていない。
4. あなたには、証拠を集めるために、もっと時間が必要です。

可能であれば、あなたは、ALJセクションに書面または電話によって、公聴会当日の前に延期を要請する必要があります。ALJが公聴会の前に延期を認めなければ、あなたは公聴会に行き、直接延期を要求しなければなりません。あなたは、自分で行けなければ、出席できなかった理由についての署名入りの説明とともに代理人を送ることができます。ALJがあなたの延期要求を却下すれば、ALJは公聴会を開催します。

私が公聴会を欠席すれば、何が起こりますか？

あなたが公聴会を欠席すれば、ALJはあなた抜きで公聴会を開き、あなたの言い分を考慮することなく、あなたの事件を決定するかもしれません。正当な理由(例えば、医療上の緊急事態が発生したか、法的代理権がない)で公聴会を欠席すれば、ALJがあなたの言い分を聞くことができるように、あなたはDOLに事件の再開を申請する必要があります。ALJが正当な理由があったと判断すれば、判事は公聴会を再開します。

元の雇用主が公聴会を欠席すれば、何が起こりますか？

あなたが公聴会を要求したにもかかわらず、元の雇用主が公聴会を欠席すれば、ALJは彼らの言い分を考慮することなく、公聴会を開催し、あなたの事件を決定することができます。公聴会の後に、あなたの元の雇用主は、事件の再開を申請することができます。ALJがあなたの元の雇用者に正当な理由があったと判断すれば、判事は公聴会を再開します。

あなたの元の雇用主が公聴会を要求したが、公聴会を欠席した場合、ALJは自動的にあなたに有利な事件として決定することになります。

私は、いつALJの決定を受け取るようになりますか？

あなたは、3週間以内に決定書を受け取る必要があります。もし届かない場合は、DOLまたは公聴会を行ったALJセクションに電話してください(電話番号は、公聴会の通知に記載されています)。

公聴会とは、何ですか？

公聴会とは、失業保険（「UI」）給付を受ける権利があるか否かを判断するために行われる非公式な裁判です。これは、ニューヨーク州労働局（"DOL"）の行政法の判事（"ALJ"）によって実施されます。

行政法の判事とは、誰ですか？

行政法の判事とは、ALJとも呼ばれており、DOLのUI審判委員会の職員です。ALJは、当事者の全員が公平に話を聞き、証拠を提示し、公平な決定を得る機会を持つことを保証しなければなりません。公聴会の後に、ALJは、あなたにUI給付の権利があるか否かについての決定を發出します。

なぜ、公聴会を開くのですか？

あなたは、給付を拒否したDOLの決定に異議を唱えるために、公聴会を要求することができます。DOLは、「決定の通知」として、決定と拒否の理由を郵送で通知します。あなたは、その理由に同意できなければ、DOLに手紙を送って、公聴会を要求することができます。あなたの請求には、決定の通知に記載された日付から30日以内の消印が必要です。

あなたの元の雇用主は、DOLの給付金支給決定に対して異議を申し立てるため、公聴会を請求することができます。この公聴会は、あなたの元の雇用者の異議申し立てが正しいかどうかを判断するために行われます。

公聴会には、誰が出席できるのですか？

- あなた自身と、あなたの事件を説明するのを手伝ってくれる人です。この人物には、弁護士、正規代理人、組合の代表者、または単なる友人とすることができます。
- あなたの元の雇用者またはその代理人（弁護士を含む場合があります）です。
- あなたと元の雇用者の双方は、証人を連れてくる権利を有します。
- DOLは、その決定を弁護するために、代理人を派遣することがあります。

公聴会の開催前に、自分のファイルを調べることができますか？

はい。公聴会の前であればいつでも、ALJセクションに電話をして、自分のファイルを見るための手配をすることができます。

公聴会には、何を持参するべきですか？

DOLのUI部から受け取った書類があれば、持参してください。さらに、契約書、手紙、給与明細、仲裁決定、団体協約、従業員ハンドブックかマニュアル、医師のメモ、写真のように、あなたの立場を裏付ける書類やその他の証拠も持参してください。

公聴会の最中には、あなたは、これらの書類を記録として受け入れるように、ALJに依頼する必要があります。あなたの事件を決定する際に、ALJは、公聴会で特定され、相手側がそれらを検討する機会を得た後に記録として受け入れられた書類かその他の証拠のみを考慮することができます。

あなたの元の雇用者は、ALJに証拠を受け入れるよう求めることもでき、ALJはあなたのファイルから書類を記録として認めることができます。あなたには、ALJが記録として受け入れる前に、あらゆる証拠を確認する権利があります。

公聴会では、何が行われるのですか？

公聴会を開始するために、ALJは、当事者と公聴会で扱われる問題を特定します。その後、ALJは、あなた、あなたの元の雇用者、加えてどちらかの側の証人に質問することができます。

ALJは、まずあなたの元の雇用者側の話を聞くことができます。全ての証言はテープに録音され、宣誓のもとに行われます。どちらの側も、書類かその他の物的証拠を提示することができます。

あなた、あなたの元の雇用者、それぞれの弁護士、または代理人は、証人に対して質問をすることもできます。これは、「反対尋問」と呼ばれます。あなたに困ったことが発生すれば、ALJに助けを求めることができます。

公聴会では、ALJは、「決定通知」か雇用主の異議申し立てに記載されていなくて、あなたの事件に関する新たな質問を考慮する場合があります。新しい質問が考慮されれば、ALJは、それを検討する正当な理由がなければならぬので、あなたにそれを説明しなければなりません。新しい質問について議論する準備ができていなければ、あなたには準備のために公聴会を「休止」（延期）する権利があります。

公聴会の最後には、あなたと元の雇用者の双方が、それぞれの主張をまとめた最終声明を発表することができます。

私は、証人を連れて来ることができませんか？

はい。あなたは、あなたの立場を支持する情報をALJに提供できる個人を公聴会に連れて来ることができます。加えて、あなたの元の雇用主も、証人を連れて来ることができます。あなた、あなたの元の雇用者、およびALJは、証人の全員に質問をすることができます。

私が必要とする証拠か証人を入手できなければ、どうすれば良いのですか？

あなたの事件を証明するのに役立つ書類かその他の証拠が必要なのに、それを持っている人から入手できなければ、ALJは、あなたを助けることができます。ALJは、「Subpoena（サピーナ、召喚状）」と呼ばれる書類を発行して、証拠を持っている人にその証拠を届けるよう強制することができます。あなたはALJに召喚状を発行するよう求めることができるので、もしALJがあなたの要求を認めれば、ALJは召喚状が届けられるように審理を延期します。

同様に、重要な証人に公聴会に来てもらう必要があるにもかかわらず、証人が拒否した場合は、あなたは、ALJに召喚状を発行して証人を強制的に出廷させるように求めることができます。この場合も、これが公聴会を遅らせる原因となります。

書類や証人を手に入れるのにALJの助けは必要ないが、時間が必要な場合は、あなたは、ALJに時間の延長を求めることができます。ALJは、あなたがそれを要求する正当な理由がある場合にのみ、より多くの時間をあなたに与えます。証言する意思のある証人がいるが、何らかの理由で公聴会に来られなければ、あなたは、その証人が電話で証言することを許可するようにALJに求めることができます。

あなたの元の雇用者とDOLには、証拠か証人を得るための同じ権利があります。

私は、弁護士か協力者を連れて来ることができませんか？

はい。あなたは、あなたを助けるために、公聴会に弁護士か他の誰かを連れて来ることができます。あなたが弁護士を雇う余裕がなければ、あなたの地元の法律扶助協会か法律業務事務所を通じて無料で弁護士を得ることができるかもしれません。弁護士または登録代理人だけが、あなたを助けるために手数料を請求することができます（そして、それはあなたが勝った場合にのみ）。手数料を請求しない人であれば、誰でもあなたを助けることができます。あなたの元雇用主も、弁護士か代理人を連れて来ることができます。